

演題名	夢実現プロジェクトにおけるGDS、セロトニン欠乏脳チェックリストでの評価 ～ 私たちって親身な対応できているの？ ～		
施設名	喬成会介護事業部	(ふりがな) 発表者(職種)	ひらの さとみ 平野 里美(正看護師)
(ふりがな) チーム名	きょうせいかい 喬成会 ハッピーホルモンチーム		
分類	③患者サービス・患者満足度の向上をめざすもの		
取り組み種別	施策実行型		
改善しようとした 問題課題	夢をプロジェクトにおいて、 ・ご利用者に「愛情を持った親身な対応」ができているのか？ ・ご利用者の幸福感を高めるような計画を立案・実行できているのか？ これらを評価して客観的なデータで表すことができない。		
改善の指標と その目標値	(指 標)“夢実現プロジェクト”の過程で、老年期うつ病評価尺度(Geriatric depression scale 15: 以下「GDS」)とセロトニン欠乏脳チェックリストを活用 (目標値)SGD数値:3点以上、セロトニン欠乏脳チェックリスト:10点以上の改善		
実施した対策	・“夢実現プロジェクト”の過程でGDSとセロトニン欠乏脳チェックリストを実施前後で測定 ・ご利用者のポジティブな部分を引き出し、幸福感が得られるような計画を立案・実行する		
改善指標の 対策実施 前後の変化	(実施前)GDS:10点(うつ状態) セロトニン欠乏症チェックリスト:52点(セロトニン欠乏脳) (実施後)GDS:6点(うつ傾向) セロトニン欠乏症チェックリスト:35点(軽度のセロトニン欠乏症)		
歯止めと 標準化	・幸せホルモンの勉強会を行い、理解を深めることで、ホルモン分泌を意識した関わりを継続する ・ネガティブな面ではなく、ポジティブな面に着目して計画を立案する ・継続してGDSとセロトニン欠乏症チェックリストを行い、ご利用者への接し方、計画の立案などの良否を、スタッフへ客観的なデータを元にフィードバックし、よりよいサービス提供の追求をする		
活動の種類 ※複数選択可	①職場単位の活動 ④組織全体で取り組んだ活動	チーム メンバー (職種)	1 平野 里美 正看護師 2 阿部 沙智 正看護師 3 岡地 裕介 セラピスト 4 菅野 紀子 正看護師
活動の場 ※複数選択可	①診療部門		
活動期間	2023.9～2023.10		
リーダー名 (職種)	平野 里美(正看護師)		
活動回数	10 回		